

「第3期深谷市子ども・子育て支援事業計画(こども計画)」策定のための

若者の意見交換会(案)

令和6年●月
深谷市こども青少年課

今回の意見交換会について



1.目的

深谷市では、令和5年4月に施行されたこども基本法に基づき、本市におけるこども施策を総合的に推進するため、「（仮称）深谷市こども計画」の策定を進めています。計画の策定にあたり、市内に在住・在学している若者世代の皆さんの現状と課題を把握するとともに、その意見をお聞きするため、意見交換会を開催します。

2.テーマ

- ①あなたは、どのようなこどもでしたか？
- ②あなた（もしくはあなたの周りの人）は、どのような悩みを抱えていたり、不安を感じていますか。（いましたか。）また、どのような価値観を大切にしていますか。
- ③あなたは、結婚したり、こどもを産み育てたいと思いますか。そのことへの理解や実現を阻むことはありますか。
- ④「こどもまんなか社会」を実現させるためには、誰が、どのような取組を進めていく必要があると思いますか。

3.日時

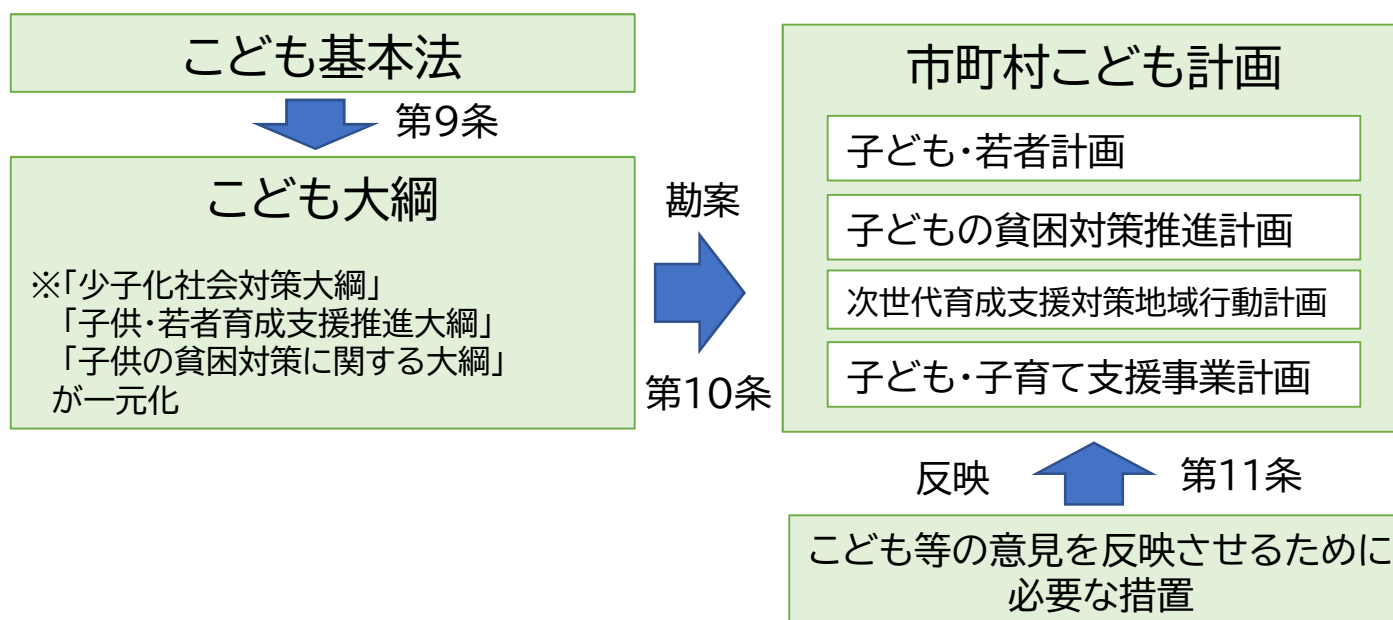
令和6年7月 日（ ） 時 分～ 時 分

4.場所

1 「こども計画」とは



- ◆ 「こども計画」は、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会＝「こどもまんなか社会」の実現を目指した計画です。
- ◆ 策定にあたっては、計画の対象となるこどもや子育て当事者等の意見を幅広く聴取して反映させる必要があります。
- ◆ こども基本法に規定された「市町村こども計画」に位置付けられ、こども大綱を勘案して作成することに努めるとされています。



2 意見交換会の流れ



10 : 00	開 会	冒頭に関係者からあいさつを行います。
10 : 05	説 明	今回の意見交換会の趣旨や流れ、ルール等を説明します。
10 : 15	自己紹介	名前(呼び名)や所属など、簡単な自己紹介をしていただきます。
10 : 30	意見交換	ファシリテーターがテーマに沿った質問をしますので、言える範囲で意見を言ってください。他の人の意見に対する意見や感想の発言など、活発な意見交換を期待します。 途中、10分程度の休憩を取ります。
11 : 45	まとめ	意見交換の感想を発表し合います。
11 : 55	閉 会	今後の予定など事務連絡を行います。
12 : 00	解 散	アンケートにご協力ください。 ご記入いただいた方から解散となります。

3-1 意見交換会のルール①



(1) みんなが安心して参加するために

- ◆ 誰もが等しく話し合いに参加します。一人ひとりの考えを大切にし、否定したり、さえぎったりしないようにしましょう。
- ◆ 話したくないこと、個人的なことは、話さなくて大丈夫です。
- ◆ 一度発言したことをなしにしたり、考えを変えたりして、他のことを言っても大丈夫です。
- ◆ 今日聞いたこと、誰が何を話したかは、他の人に言いません。
- ◆ みんなが話せるように、協力しましょう。

人と話すこと・意見を出し合うことを楽しみましょう！

3-2 意見交換会のルール②



(2) SNSなどの投稿について

- ◆ 意見交換会に参加していることを投稿したり、自分だけが写っている写真の投稿はOKです。
- ◆ 他の人の写真が写っている写真は、写っている人から承諾された場合のみ使用してください。
- ◆ 誰が何を話したかは、他の人(友人・先生・家族など)に言いません。

※意見交換会に参加してくれた人だけが知っていることもあるので、気をつけてください。

4 みなさんの意見について



- みなさんの意見は、「(仮称)深谷市こども計画」の策定において活用するとともに、今後のこども・若者のための施策の推進の参考とさせていただきます。
- 意見のとりまとめ結果を計画書や市ホームページ等に掲載することがあります。
- その際は、誰が発言した意見なのか、わからないようにします。

5 意見交換のテーマ



【テーマ1】

自身のこどもの頃の経験について

【テーマ2】

こども・若者の不安や悩み、価値観等

【テーマ3】

結婚や出産、子育てへの意識・希望等

【テーマ4】

「こどもまんなか社会」の実現に向けて

テーマ1 自身のこどもの頃の経験について



質問

あなたは、どのようなこどもでしたか？

- 好きなことや熱中したこと
 - 好きな場所、落ち着く場所
 - 地域の大人との関わり
 - 将来の夢
- など

テーマ2 こども・若者の悩みや不安・価値観



質問

あなた(もしくはあなたの周りの人)は、どのような悩みを抱えていたり、不安を感じていますか。(いましたか。)

また、どのような価値観を大切にしていますか。

- こどものころ嫌だったこと、悩んでいたこと
 - 将来に向けた不安
 - 大切にしたい価値観、考え方
- など

テーマ3 結婚や出産、子育てへの意識・希望



質問

あなたは、結婚したり、こどもを産み育てたいと思いますか。そのことへの理解や実現を阻むことはありますか。

- いつかは結婚したいと思うけど…
- 何のために結婚する？
- 結婚して子どもを産むと〇〇… など

テーマ4 「こどもまんなか社会」の実現に向けて



質問

「こどもまんなか社会」を実現させるためには、誰が、どのような取組を進めていく必要があると思いますか。

- 家庭では、学校では、地域では、企業では・・・
- 市(行政)が力を入れるべきこと
- こどもや若者の声を聴き、決めていくためには

こどもまんなか社会とは・・・



全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる社会。

【具体的には】

- 全てのこどもや若者が、保護者や社会に支えられ、生活に必要な知恵を身に付けながら
 - 心身ともに健やかに成長することができます。
 - 個性や多様性が尊重され、尊厳が重んぜられ、ありのままの自分を受け容れて大切に感じる(自己肯定感を持つ)ことができ、自分らしく、一人一人が 思う幸福な生活ができます。
 - 様々な遊びや学び、体験等を通じ、生き抜く力を得ることができます。
 - 夢や希望を叶えるために、希望と意欲に応じて、のびのびとチャレンジでき、将来を切り開くことができます。
 - 固定観念や価値観を押し付けられず、自由で多様な選択ができ、自分の可能性を広げることができます。
 - 自らの意見を持つための様々な支援を受けることができ、その意見を表明し、社会に参画できます。
 - 不安や悩みを抱えたり、困ったりしても、周囲のおとなや社会にサポートされ、問題を解消したり、乗り越えたりすることができます。虐待、いじめ、体罰・不適切な指導、暴力、経済的搾取、性犯罪・性暴力、災害・事故 などから守られ、困難な状況に陥った場合には助けられ、差別されたり、孤立したり、貧困に陥ったりすることなく、安全に安心して暮らすことができます。
 - 働くこと、また、誰かと家族になること、親になることに、夢や希望を持つ ことができます。
- 20代、30代を中心とする若い世代が、
 - 自分らしく社会生活を送ることができ、経済的基盤が確保され、将来に見通しを持つことができます。
 - 希望するキャリアを諦めることなく、仕事と生活を調和させながら、希望と意欲に応じて社会で活躍することができます。
 - それぞれの希望に応じ、家族を持ち、こどもを産み育てることや、不安なく、こどもとの生活を始めることができます。
 - 社会全体から支えられ、自己肯定感を持ちながら幸せな状態で、こどもと向き合うことができ、子育てに伴う喜びを実感することができます。そうした 環境の下で、こどもが幸せな状態で育つことができます。

6 まとめ



意見交換会に参加してみたの感想をお聞かせください。